

藤の里だより

第五号 平成17年 7月 15日 発行



「ショートステイ 藤の里」 開所

グループホーム 「藤の里」
ショートステイ 「藤の里」

代表 石原恵子

七月一日より「ショートステイ藤の里」(単
独型小規模生活単位型短期入所生活介護)が開
所いたしました。
一泊から御利用できます。要支援の方も介護保
険の枠内でご利用いただけます。
職員一同、皆様のお越しをお待ちしております
ので宜しくお願ひ申し上げます。
送迎も行いますので、お問い合わせ下さい。

梅雨の変わりやすい天候の中、グループプ
ムの入居の皆様は夏風邪をひく方もなく、お元
気で暮らしておられます。

今の雰囲気も大切にしながら、職員の資質向上
をはかり、高い志に裏づけされた、サービ
スを皆様に提供してゆくことを、めざしてまい
ります。

藤の里の理念に打ち出しております、地域に
根ざしたサービスト、一言に言ってもなかなか
難しく、地域のニーズを知ることから、はじめ
なければいけないと思っております。

地域の中にあつて私たちは、地域に何を提供し
てゆけるのか、何が望まれているのか、そのあ
るべき姿の実現を目指すことを考えたとき、今
さらに身の引き締まる思いがいたします。

奥の深い介護の道を、職員一同、一歩づつ前
進してまいります。

家族会初め皆様の御厚情に支えられ、頑張
っております。今後共、お導きの程お願い致しま
す。

彩の国ものづくり

スタンプラリーの参加に
ついて

6 / 25 } 9 / 30 の
スタンプラリーに参加
しております。福祉の部門
の参加は珍しく、

「何のものづくりをして
いるのですか?」

との県からの問い合わせ
には、

「入居者と一緒に、レク
レーションを兼ね小物を
作っています。見学に見
えた方と一緒に話しま
がら作品を作ります」

と説明して参加できま
した。

近くの皆様もどうぞいら
して「藤の里」を知って
下さい。

素晴らしいお年寄りが
待つておられます。

いろんなお話をして楽し
い時間を心に残してあげ
て下さい。お待ちしてい
ます。

バラ見学(伊奈町)



バラの香りに包まれて歩きました
花びらを拾ってきて、
お風呂に浮かべました。



コンサート(騎西文化センター)



良いお席を取って
いただきました
ゆったりとした
一刻を過ごしました。



バザー



はじめてのバザーでした。それなりに皆で楽しくやりました。
お客さんが少なかったのが、残念！！



七夕



今年はどれも力作ぞろいでした。
願い事もたくさん飾りました。



うちわ作り



中学生と一緒に
作りました。
今も大切に
使っています



ラベンダー・アヤメ(菖蒲町)



天候がすぐれず
時期が少し早かった
けど、中学生の生徒と
一緒に行くのが
嬉しくて、皆
はしゃぎました。



「私の母」(都築いせ様)

富澤 京子

母は騎西町下種足に農家の3人姉妹の長女として大正7年に生まれ今年で87歳になります。昭和18年に結婚、兄と私をもうけ、私が1歳の時に父と死別、再婚して、弟をもうけました。

若い頃の母はいつも一生懸命働いている姿しか覚えていません。

昔の農業は機械化されていなかったため、作業は大変でした。

母の腰が曲がった原因の一つかもしれません。

兄が農業を継いでからは、米を中心に、梨、いちご、茄子等の栽培をしていました。昭和53年に父がガンで亡くなってからは、ずっと兄と2人暮らしでした。その間は、菊作りをしたり、好きな旅行に出かけたり趣味の俳句をやったりデイケアに通ったりしていました。時々、老人性のうつ症状が出て心配していた時に、ケアマネジャーさんより紹介して頂き、藤の里に、お世話になる事になりました。入所してから職員の方には、良くしていただいて本当にありがたいと思っ、毎日感謝して過ごしております。

職員より：四季おりおりの俳句を読み、まわりの人たちに聞かせております。毎日の新聞(農業新聞)月刊誌(家の光)を読み、ノートに書きとめる姿が良くみられます。



昭和55年4月

「父、関根稔司を語る」

関根和典

父は、大正4年1月18日生まれです。今年で90歳を越える事ができました。父の長兄は102歳、次兄は89歳で亡くなっております。

現在次兄の年齢を超える事ができ、次は少しでも長兄のその年齢に近づこうと日々頑張っている毎日と言えます。

父は独学で勉強し埼玉師範学校(現・埼玉大学)に、入学し又卒業した頑張り屋です。その後、小学校教員として、戦前・戦後を通じ40年近く子供達と過ごしてきたと言ってもいいでしょう。本当に子供達が好きで教え魔です。

その信条は、忍耐、努力、誠実と言う3つの言葉に尽きると思います。

温和な父ですが一度だけ叱られた事があります。それは私が会社に入りその日の仕事之余につまらなく、又単純な作業なので「もう辞めるよ」と言ったら「バカだった1日でなにが分かるか、長くやってみて初めて分かる事もあるんだよ」と言われた事です。その後会社で良き師、良き友人、良き同僚に恵まれ定年を迎える事が出来ました。

現在も元気で囑託として働いていられるのは、あの時の父の言葉があったからと感謝しております。父には出来るだけ長生きをしてほしいと願っております。

職員より：教職をとっておられたことも有り、良く読書をしておられます。天気の良い日には、かかさず散歩に出る様、声がけております。



(単独型小規模生活単位型短期入所生活介護)

介護認定をうけられた高齢者を対象にした、在宅サービス施設です。家庭や家族の都合で一時的(短期・長期によらず)に家庭から離れ介護サービスを受けながら、家庭の延長の雰囲気の中で生活していただくものです。家族の介護負担を軽減いたします。

日常生活の援助と生活リハビリを看護と介護の両視点から見て、その人に合ったプランを立てます。生活の質をおとさないサービスで、お預かりいたします。

家庭の生活に戻られても支障のないように、日頃の生活パターンを大切にいたします。

20床を2ユニットに分け、個別に対応いたします。

介護保険適用外自己負担額 (どなたにも、平等にいただく費用です)

部屋代	1500円/一日
食事代(3食+おやつ)	1300円/一日
消耗品費及び雑費	100円/一日
趣味教養費	100円/一日

{個別にご利用された方のみ頂く分}

ドライクリーニング代	実費
理・美容代	実費

*その他費用が発生する場合は前もって提示いたします



今年もあっという間に半分が過ぎ気温が上がったり、下がったりで、不安定な毎日が続いております。
藤の里に入居の方も、上着を一枚はおったり、脱いだりと調整が大変です。
ちょっとした気配りで夏風邪をひかないように出来ます。

2005年 6月30日現在 平均年齢 81.9歳 平均介護度 2.6度

認知症の 第一の法則 (最近の出来事を全く忘れてしまう) 1月号掲載
第二の法則 (症状の出現強度に関する法則) 4月号掲載

第三の法則(自己有利の法則)

自分として不利なことは認めない

社会生活をうまく送っていくには、推理力や判断力が必要ですが、認知症の高齢者では能力が低くなっている為、むしろ、本能的な行動が表に出てきます。失禁しても認めず、自分ではないと言い張ったり大切な物がなくなったと騒ぎ、家族が見つけてあげると、誰かがしまったんだ、自分じゃないと言い張ります。

対応のヒントとしては

人は誰でも、自分の能力低下や生存に必要な機能の喪失をみとめようとしにくい傾向があり、本能的に自分を守ろうとする行動にでることを理解しましょう。

私達についても同じで、自分のミスや失態は誰でも隠したいものです。

認知症の高齢者は、その気持ちがあるまま行動に出ていると考えられます。

脳を若く元気に保つ暮らし方 その2

手先を使う・指先を使う

細かい作業をすることは(編み物、手芸など)脳の刺激になります。

会話を楽しむ(言葉の遊び)

一人でテレビに向かってしゃべるより、誰かと会話をしましょう。ただの挨拶でも、口から言葉を出す方法を考え、相手の言葉を聞いて理解して返事をする事で脳が働きます。

食事を良く噛んで食べる

義歯でも食物をしっかり噛んでください。アゴの筋肉を動かすと脳を活性化します。

ひとこま(3)

新聞を取っておられる方がいらっしゃいます。すみからすみまで、毎日、読むのが仕事で楽しみなようです。

時々「この文字はなんて読むの?この言葉を漢字になおして書いてみて」など職員におっしゃいます。

漢字辞典や国語辞典とにらめっこで職員も探します。

でも、ご自身は案外と全てを知ってらして、私達を試しておられるのかも……。

私達も、しっかりしなくっちゃ、負けてはいられません。

K.U

ショートステイ藤の里

お一人、一人の生活の質を大切にして、適切な環境と介護を提供いたします。
生活リハビリを通し、残存能力の維持、向上に務めます。

介護保険適用自己負担額

介護度により設定(下記)

	個人負担額 (円)
要支援	952円
要介護度1	982円
要介護度2	1,029円
要介護度3	1,077円
要介護度4	1,125円
要介護度5	1,172円

送迎(片道1回) 184円



車椅子のまま入浴可能な浴室



居室 全室テレビ付



ホール

梅雨とは梅の実が熟する時期に当たるとも言われているようです、うっとうしい日が続く中、藤の里では、玄関前に星の祭りとも言われる七夕飾りが入居者の手作りによる賑わって居ります。季節感を感じながら生活できる喜びを共に二年目を迎え、入退所の入れ替わりが何件ありました。入所される方の不安、新しい環境の中でその人らしい生活を大切に尊厳を持って、かかわっていく、プレイバシーを尊重しながら職員ひとりひとりが、初心を忘れず、日々向上しながら元気で笑顔の絶やさないホームでありたいと願っております。

退所 4件 入所 4件 18人元気で過ごしておられます

M.A

バザー(4/23)のご報告

家族会の皆様には、お知らせしましたが、バザーの収益金 41,700円を利用してグループホームの玄関先に屋根を付けました。雨でも、外へ少し出られます。洗濯干し場にならないように思っていますが多目的な使い方をしていいのかも？御協力していただいた家族会の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。

7/12 うどんとそば打ち会を副会長の関根さんが企画して下さいました。昨年来ていただいた岩崎さんとは、又、違ったうどん、そばになりました。

8月、9月の予定として、小旅行(1泊)を計画しています。詳細はおって連絡いたします。たくさんの方の参加を期待しております。

藤の里 第2回夏祭りのご案内

日時:8月20日 午前11時～午後3時まで

場所:グループホーム藤の里の庭

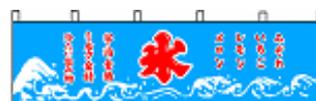
グループホームの庭も整備され、玄関ポーチに、屋根も付きました。

入居の皆様も外へ出やすくなりました。

庭先で、お茶を楽しんだりしておられます。

出店もあります。お誘いあってお越しください。

焼きそば・ヨーヨー・かき氷・ジュース
綿飴・トン汁他
ご用意しております。



家族会の連絡
夏祭りの片づけ後、家族会を行います。
小旅行の件
その他
ご家族の参加をお願いいたします。
不参加の方は、ご連絡ください。

< 編集後記 >

さて、今回、新たに開所いたしました、『ショートステイ藤の里』をこれからこの広報と一緒に掲載する事になりました。これからはもっと内容が濃いものをのせ、皆様にご利用できるように編集してまいりますので、宜しくお願い致します。今年の夏は、長いか、短いか分かりませんが、去年の小旅行は、良い時期に企画できました。今年もいい時期を狙って計画して、入居者と家族の写真を撮ってまいります。

『ショートステイ藤の里』を、「グループホーム藤の里」同様に、家族会、又、近所の皆様宜しくお願い致します。

T.I

編集発行人

北埼玉郡騎西町鴻荳2168-1・2

有限会社 フクシ

グループホーム「藤の里」 TEL 0480-73-2943

ショートステイ「藤の里」 TEL 0480-73-8294

ホームページ <http://www.2943.jp>

担当: ケアマネージャー 石原